　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（様式４-⑴）

広島市　　　老人福祉センターの管理運営に関する事業計画書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請団体名

**※行数が不足する場合は、貴団体で行数を増やしても差し支えありません。**

|  |
| --- |
| １　市民の平等利用を確保することができること。 |
| ⑴　高齢者等の平等・公平利用を確保するための明確な考え方を示した上で、受付方法や利用について平等な取扱いをするための具体的方策等について記入してください。  　ア　考え方  　イ　具体的方策  ⑵　条例で掲げている使用・入場の制限に該当する要件及び該当要件に当たる場合の対応方法を具体的に記入してください。  　ア　使用・入場の制限に該当する具体的要件  　イ　具合的な対応方法  ⑶　障害者や高齢者などの施設利用に当たっての合理的配慮について明確な考え方を示した上で、受付方法や利用についての具体的方策等について記入してください。  　ア　考え方  　イ　具体的方策 |
| ２　施設効用が最大限に発揮されること。 |
| ⑴　施設の運営方針について記入してください。  ⑵　施設の設置目的を効果的に達成するために計画している事業について記入してください（条例第３条に規定する事業をより効果的に行えるよう、有資格者（看護師等）を配置する場合には、その資格名と実施内容を記入してください。）。  ⑶　市が示す基準値を達成するための具体的な利用促進策を記入してください。  ⑷　利用者に対するサービスの向上について記入してください。  ア　職員の接遇の向上を図るための方策  イ　上記ア以外の具体的方策（休館日や開館時間の変更についての提案を含む。） |
| ３　事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していると認められること。 |
| ⑴　団体の経営基盤（効率的な運営への取組、考え方、理念及び情報公開の方針等）について記入してください。  ⑵　施設運営のための人員体制、人員配置、人材育成体制について記入してください。  　ア　開館時間中の人員体制  イ　代替要員体制（バックアップ体制）、開館・閉館時の連絡体制、緊急時の連絡網等  　ウ　職員研修等の人材育成体制（施設管理上遵守しなければならない関係法令等を職員に理解させるための研修スケジュール、研修内容及び研修方法等）について記載してください。  エ　責任体制、再委託する業務（業務内容、再委託する理由、再委託先の選定方法等）の範囲について記入してください。  ⑶　利用者及び近隣住民からの苦情を想定した上で、その具体的対策を示してください。  ⑷　団体の実績（類似施設の管理実績：名称、施設の規模、管理年数、業務内容等）について記入してください。  ⑸　個人情報の適正な管理体制について記入してください。  ⑹　緊急時の対応（火災、風水害など）及び安全対策（防犯、防災、衛生対策など）について記入してください。 |
| ４　地域の実情に適合した事業を行う能力を有していること。 |
| ⑴　老人福祉センターに求められる福祉活動・文化活動等に対するニーズの把握状況（又は把握する方策）について記入してください。  ⑵　地域の高齢者及び高齢者団体のニーズを踏まえた事業展開について記入してください。  　ア　地域の高齢者のニーズを踏まえた事業展開について記入してください。  　イ　地域の高齢者団体のニーズを踏まえた事業展開について記入してください。  ⑶　他の施設や団体等との共催企画など、地域に開かれた取り組みに関する計画について具体的に記入してください。  　ア　他の施設や団体等が実施している行事やイベント等について、連携して開催してもらうなど、地域に開かれた取り組みに関する計画について具体的に記入してください。  　イ　提案した事業について、他の施設や団体等と連携して開催することなど、地域に開かれた取り組みに関する計画について具体的に記入してください。 |